

授業の実践等を通して把握できた課題等について

1. 「薬害を学ぼう」関係

- 授業を実施いただいた先生からは以下のような指摘をいただいた。
 - ・多様な薬害が掲載されているが、「掘り下げる」授業スタイルを指向しているので、その観点からは使いづらい。
 - ・生徒に考えさせたい点がパンフレットにまとまってしまっているので、パンフレットそのものではなく抜粋して使用する。
- また、学校アンケート（資料 1）でも、時間数との関係で 1 枚程度にまとまった資料があるとよいといった意見も寄せられている。

（来年度以降の取組）

- 来年度もモデル的な授業実施に向けた取組を継続し、授業の展開方法について知見を増やした上で、簡略版・抜粋版を作成する等、より活用しやすいものとなるよう検討を加えることとしてはどうか。

2. 「指導の手引き」関係

- 現在、中学 3 年生の社会科公民的分野における消費者の保護に関連する指導の参考となるよう、指導の手引きを作成・配付している。
- 今回、中学 3 年生に対しては以下の教科等において授業を実施いただいた。
 - ①社会科公民的分野（基本的人権や「よりよい社会を目指して」と関連させて指導を実施）
 - ②総合的な学習の時間
 - ③道徳
- また、中学 3 年生以外にも、中学校における総合的な学習の時間や、高校における公民科現代社会（人権や消費者問題と関連させて指導を実施）、地理歴史科日本史 A（高度経済成長と関連させて指導を実施）等において授業を実施いただいた。
- また、学校アンケートでも、消費者保護以外の指導案を求める意見も寄せられている。

（来年度以降の取組）

- モデル的な授業実施に向けた取組を継続しつつ、教科等の特性に応じて、消費者の保護以外の内容と関連させて取り扱うことも可能である点を考慮し、指導案の追加・再構成等を検討することとしてはどうか。

3. 授業実施率向上に向けた取組関係

○授業を実施いただいた先生からは、生徒に身近な問題であることを感じてもらうことや、授業の導入部分で生徒を引き込むことに困難さを感じる旨の指摘があった。

○学校アンケートでも、聞きなれない言葉が多い、中学校ではより身近な事例を扱う方が学習しやすい、指導時に改めて授業研究が必要となる等の意見も寄せられている。

(来年度以降の取組)

○今後は、例えば教科等ごとの研究会で教師向けに講演を行うなど、教師が葉書に関する理解を深めるための取組について検討することとしたい。

○また、学校アンケートにおいて他校の活用例を知りたいとの意見も寄せられており、平成30年度配付分からパンフレット送付時に今回の資料2をもとに作成した指導事例を周知する。